

科目区分	専門分野	授業科目	臨床推論 I
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(20時間)	開講年次	1年次
目的: 臨床的思考過程に基づいた看護実践の基礎的能力を習得する。 目標: 1 臨床推論のプロセスと気づくために必要な力を理解する。 2 臨床的思考過程の中の「気づき」を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内容	
1臨床的思考過程	4	1 臨床推論とは 1) 対象の背景・関係性 2) 気づき 3) 対象に起こっている状況の解釈 4) 実施・対象の反応と結果 5) 省察 2 気づくために必要な力	
2「気づく」に焦点を当てたシミュレーション	16	1 対象の状況に気づき、看護援助実践のための手がかりを得る。※1 【場面のキーワード】 コミュニケーション 対象の言動 環境の調整	
評価方法		レポート、シミュレーション、参加状況・態度等	
テキスト		医学書院 基礎看護学〔2〕 基礎看護技術 I	
参考資料		医学書院 基礎看護学〔3〕 基礎看護技術 II メディックメディア 看護がみえる vol.4 看護過程の展開 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第3版	
履修上の留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。 演習時、積極的な姿勢で参加すること。 提出物は提出日時を厳守すること。	
備考		※1はシミュレーションを行う	

科目区分	専門分野	授業科目	臨床推論Ⅱ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(20時間)	開講年次	2年次
目的：臨床的思考過程に基づいた看護実践の基礎的能力を習得する。 目標：1 臨床的思考過程に基づいた看護実践が理解できる。 2 OSCE(客観的臨床試験)を通して、看護実践能力の到達度を評価する。			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 シミュレーション	10	1 対象の状態を観察し、看護援助を実践する。※1 1) 対象の初期把握—状況の解釈—実施・対象の反応と結果—省察 【場面のキーワード】 フィジカルイグザミネーション 寝衣交換 清潔の援助 移動の介助 ルートのある患者 症状のある患者	
2 OSCE	10	1 OSCE(客観的臨床能力試験)※2 【キーワード】 寝衣交換 移乗動作 清潔の援助 輸液療法をしている患者の援助 膀胱留置カテーテルの管理 酸素療法の管理	
評価方法	OSCE(客観的臨床能力試験)、レポート課題、参加状況・態度等		
テキスト	医学書院 基礎看護学〔4〕 臨床看護総論 医学書院 基礎看護学〔2〕 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 基礎看護学〔3〕 基礎看護技術Ⅱ		
参考資料	メディックメディア 看護がみえる vol.4 看護過程の展開 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第3版 学研 看護過程に沿った対象看護(病態生理と看護のポイント) 第5版		
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 演習時、積極的な姿勢で参加すること。 提出物は提出日時を厳守すること。		
備考	※1はシミュレーションを行う。 ※2はOSCE(客観的臨床試験)を行う。		